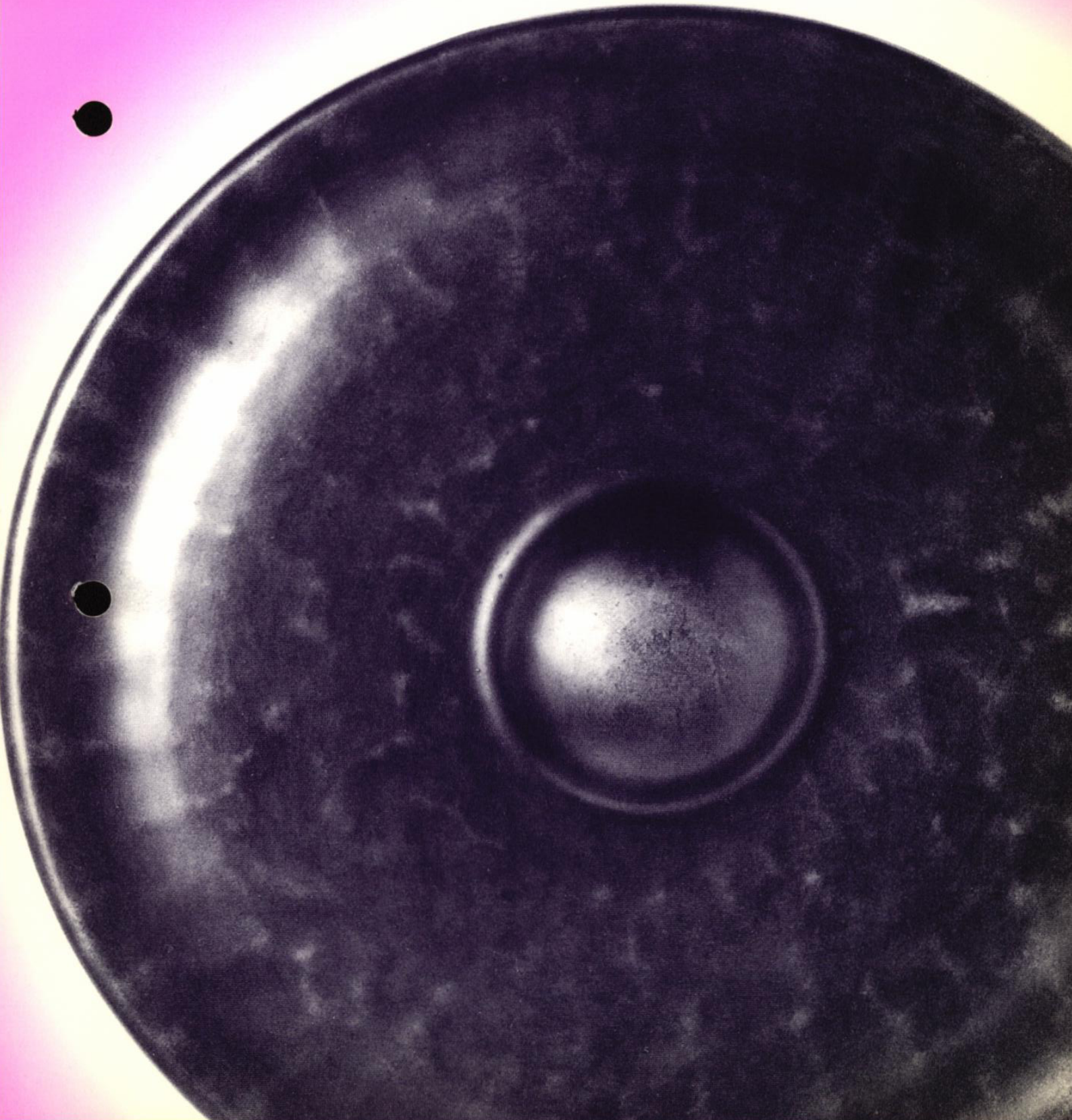


ROTARY CLUB OF **KANAZAWA-NORTH**

1995年3月2日 第530号



# 金澤北ロータークラブ





## 私 の 名 刺

田 中 廣 嵩



このたび、金沢北ロータリークラブに入会させていただくことになりました田中廣嵩（ひろあき）でございます。入会に際しましては先輩会員諸氏より、ロータリークラブ創設精神のご講義、心構えを賜り改めて身のひきしまる思いで、拝聴させていただきました。誠にありがとうございました。

私は現在株式会社 田中運送を経営し、美術品の輸送をいたしております。私共は北陸を基点に全国へ美術文化の発信を目指して、「文化を運ぶ企業」として独自の美術品輸送分野の開拓と実績を積みあげてまいりました。これもひとえに皆様方のご支援があればこそと感謝いたしております。

美術館や新聞社で企画された展覧会の作品、公募展覧会へ出品される作品、個展作品等を作家のアトリエから、集配、搬入出作業さらに、展覧会会場設営から作品展示作業までの一貫作業をいたしております。

ひと口に美術品といいましても、古美術から現代美術、工芸、彫刻と素材や表現方法は実に多岐にわたり、時には金銭では換算のできない重要文化財も含まれ、それらの美術品の取扱いを周知、理解してこそはじめて美術品運搬を可能にし、すべての人が身近かに、美術文化にふれ、心のゆとりや感動する喜びに、ささやかでもお手伝いできますことを、私共の喜びとしております。

私は昭和19年11月満州・大連市にて生まれ、育ち、昭和22年3月金沢市石引町に引揚げてきました。現在の美術品を運ぶきっかけも、成巽閣や石川県立美術館、金沢美術工芸大学等県内はもとより、全国的にも文化の香り高い、すべての芸術の素地がある、この地であったことに感謝をしております。同時に終戦まもなく、果敢に文化活動へのスタートを切った先人や諸先生方にめぐり合えたことも特に心するところです。

作家が時をかけ、心を入れ、形となった生まれたての作品を、私共に託していただける、そしてその作品を次の世代へ……。

このような素晴らしい、誇りある仕事にたずさわれることに感謝にたえません。

ふりかえる余裕もなく頑張り続けてきた50年、産業の高度化とともに、益々心の文化、地方の文化が求められる時代に、自分としてこれからどのように社会とかかわりあって、今日までの感謝の気持ちを形にすればよいのか、私のこれからの課題でもあります。幸いにもこのたび、金沢北ロータリークラブに入会させて頂きましたことを機会に、微力ながらも、社会への奉仕の一端をになうことができますれば、幸いに存じます。

なにぶん新人でございますので、不慣れなところ多々ございますが、会員諸先輩のご指導ご便捷の程よろしくお願い申し上げます。



## 瑞石基だより

韓国南光州RC週報1149号1995.2.6より

### 前週会の状況

会員数80名、出席数46名、出席率58%  
 誠金 ₩1,030.000、累計 ₩23.560.000  
 韓国ロータリー奨学文化財団基金  
 奉仕者 累計 325名、₩59.000.000  
 個人名の奨学金累計 ₩21.800.000

### 国際ロータリー財団基金

PHF 累計103名 (\$103.000)  
 PHF 累計 5名 (\$ 5.000)

### クラブ奨学文化基金

クラブ基金合計 ₩126.426.720  
 事務室賃借料 ₩3.891.610  
 会館建立基金 ₩1.650.000

### 会友の誕生日を祝賀

カンピョンヨン氏 陰1. 9  
 チョウキジョン令夫人 陰1. 7  
 パクチュンソク令夫人 陰1. 9

### 会友の結婚を祝賀

イスンガン氏 陽2. 8

### 次期会長紹介と役員選出

#### 次期会長

(金平蓮キムビョンヨン-凡湖)

#### スピーチ

## 石丸 幹 夫

友好クラブとの会報の交換を迅速化するために、FAXを用いる事を韓国南光州RCに提案しました。こちらから先ず95.2.2号（ハンクルで抄録をつけて）を送りましたところ、さっそく、向こうから上記内容の最新号95.2.6号が届きました。次期会長紹介、新役員選出について等が主の様です。なお、別に次のような呉斗三会長のメッセージがありました。

「次期会長から送っていただいたFAXと貴クラブの週報有り難う御座います。さっそく私どもの週報をお送り致します。先日発生した大地震の莫大な災難を被った貴国国民には真心をもって慰労を申し上げ、早急なる復旧を祈願致します。被害をうけた貴クラブ会員はおられませんか？私のクラブから——(FAX不明瞭)——ないか伝達いたします。

交換訪問をはじめとして、友好増進のプロジェクトを更に発展させることを念願して、そのうち訪問される貴クラブ会員を全面的に歓迎致すつもりです」。





